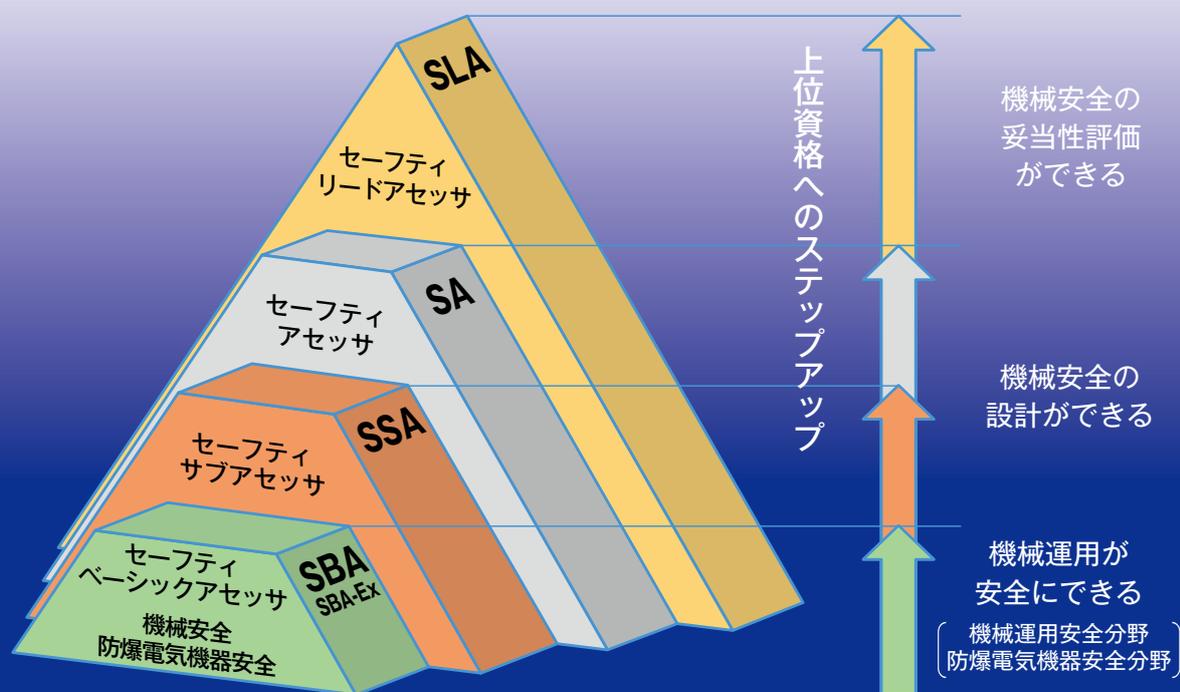


セーフティアセッサ セーフティベーシックアセッサ 資格認証制度のご案内

安全な製品づくり、安全なものづくり
安全を支える人づくりに最適な資格



セーフティアセッサ資格制度は、機械・設備安全に関する知識と能力の保有を認証するシステムです。

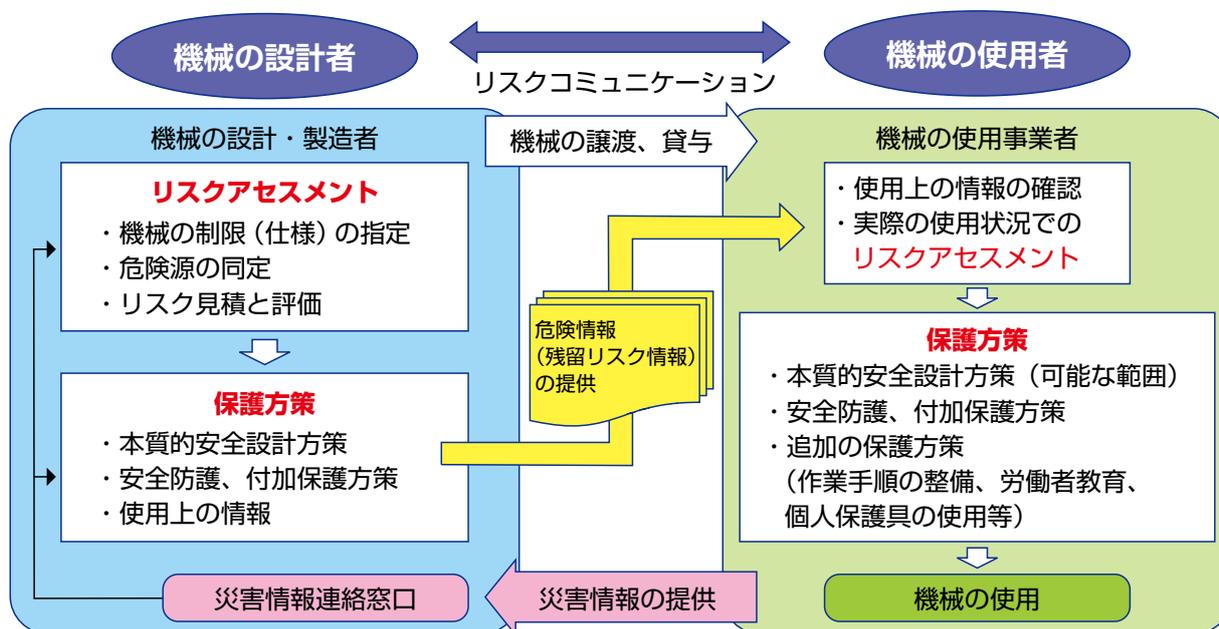


日本認証株式会社

JAPAN
CERTIFICATION
CORPORATION

機械安全に対する人材育成には セーフティアセッサ資格の活用が有効です

機械安全に対して設計者と使用者間でリスクコミュニケーションが行える人材が必要です



機械の製造者は、機械の設計・製造段階でリスクアセスメント・保護方針を実施し、もし残留リスクがある場合はこれを危険情報として機械の使用者に提供することが必要です。また、使用者は、この情報に基づきリスクアセスメントを実施し、保護方針等の必要な処置を講ずることが義務付けられています。

これらの安全対策を適切に実施するためには、機械安全に関する知識を持つ人材が必要となります。

機械の製造者、使用事業者が実施するリスクアセスメント・保護方針は労働安全衛生法で、危険情報の提供は労働安全衛生規則により努力義務化されています。

セーフティアセッサ資格認証制度

セーフティアセッサ資格は、国際安全規格に基づく機械安全の知識、能力を有することを第三者認証する資格制度として、(一社)日本電気制御機器工業会(NECA)、安全技術応用研究会(SOSTAP)、テュフラインランドジャパン(株)と協力し、日本認証(株)(JC)が運営しています。この資格は、知識、能力に応じて3段階に区分され、資格認証試験合格者には適格性証明書を、また希望者にはカード型適格性証明書(認証カード)が発行されます。セーフティアセッサ資格者は、機械安全に関して所定の知識・能力を有することが客観的に認証され、機械安全に関する業務を適切に遂行できることから、企業内外での職能に対する高い評価と信頼につながることができます。また、企業にとってもこの資格制度を活用することにより機械安全に関する人材の育成が可能となります。下記の各アセッサ資格取得者は、法令改正などの更新情報がJCから提供される他、SA協議会への参加による最新の安全関連情報の入手など、自身の知識水準の維持、向上を図ることができます。

セーフティリードアセッサ (SLA)

セーフティアセッサの持つ安全性の妥当性判断能力に加え、第三者として安全性の妥当性判断の総合力を有する



セーフティアセッサ (SA)

セーフティサブアセッサの持つ基礎知識、能力に加え、安全性の妥当性判断の総合力を有する

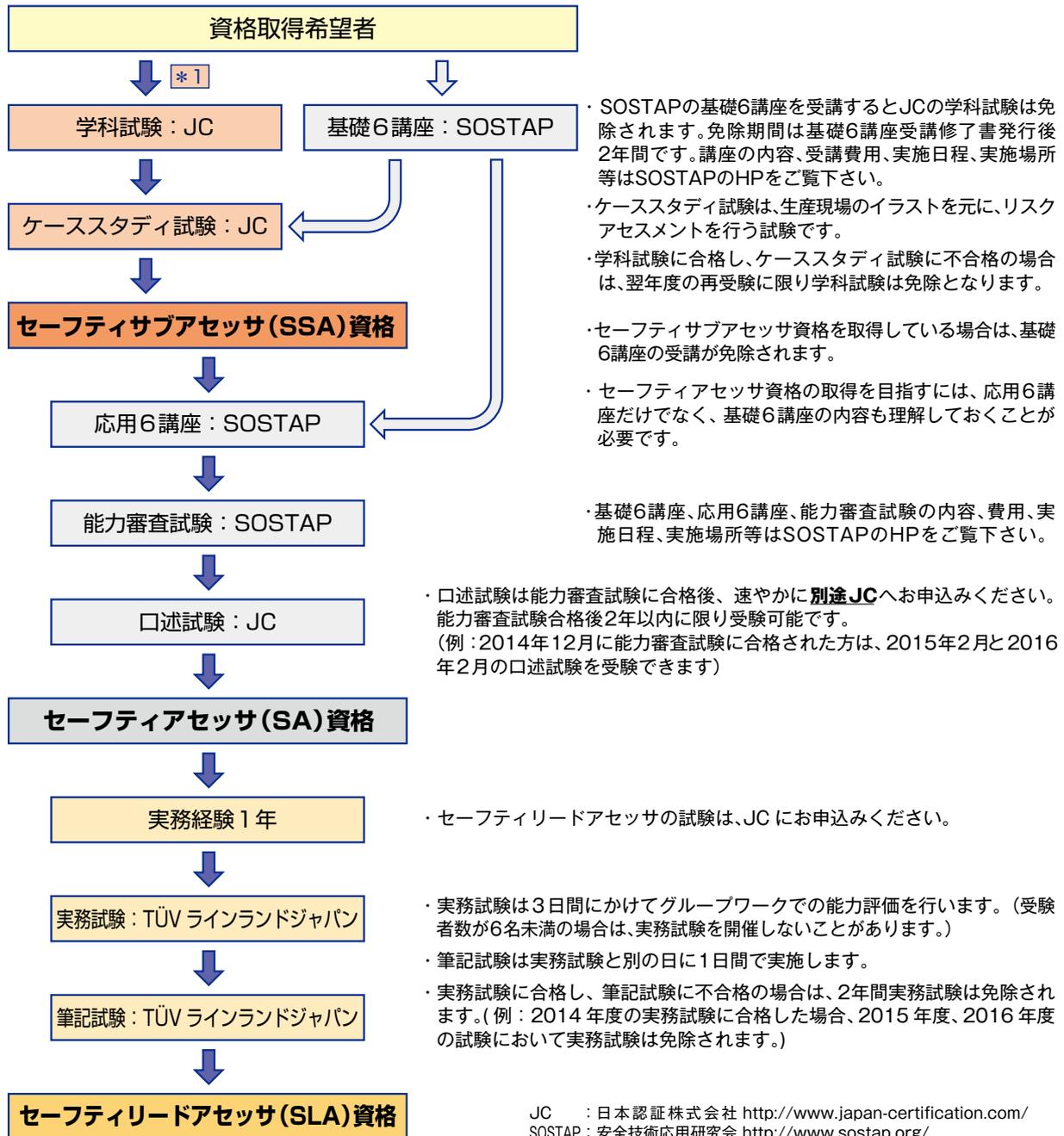


セーフティサブアセッサ (SSA)

安全性の妥当性確認に必要とされる基礎知識、能力を有する



セーフティアセッサ資格の取得方法



*1 セーフティサブアセッサフォローアップ講習会

セーフティサブアセッサの受験を目指しているが、日程・地理的に基礎6講座の受講が困難な方を対象とした講習会です。また、下記のような方にも適しています。

- ・自主学習に加え、この講習会により実務知識の習得を確実なものにしたい方。
- ・セーフティサブアセッサ試験への再チャレンジを考えておられる方。

全国各地で実施しますので、日程・場所は、JCのHPで確認してください。

なお、10名以上なら任意の日程に企業・団体へ講師を派遣して講習を実施することも可能です。JCにお問合せ下さい。

第1日目

- ・機械安全の背景
- ・安全とリスクの概念
- ・国際規格と認証
- ・技術者の果たす役割
- ・国内外の法令
- ・リスクアセスメント
- ・3ステップメソッド
- ・電気安全

第2日目

- ・リスクアセスメントのポイント
- ・危険源の分類と事例
- ・リスクアセスメント実習Ⅰ
- ・リスクアセスメント実習Ⅱ

セーフティベーシックアセッサ資格認証制度について

・セーフティベーシックアセッサ〈機械運用安全分野〉(略称:SBA 資格)

「セーフティベーシックアセッサ〈機械運用安全分野〉資格認証制度」は、機械の運用に関わる方々、管理・営業職等の幅広い層を対象に、国際安全規格に基づいた機械安全の普遍的・基礎的な知識の習得と第三者認証を行う教育・認証プログラムです。ものづくり現場の人材育成として最適です。講習会と試験が1日で行われます。



・セーフティベーシックアセッサ〈防爆電気機器安全分野〉(略称:SBA-Ex 資格)

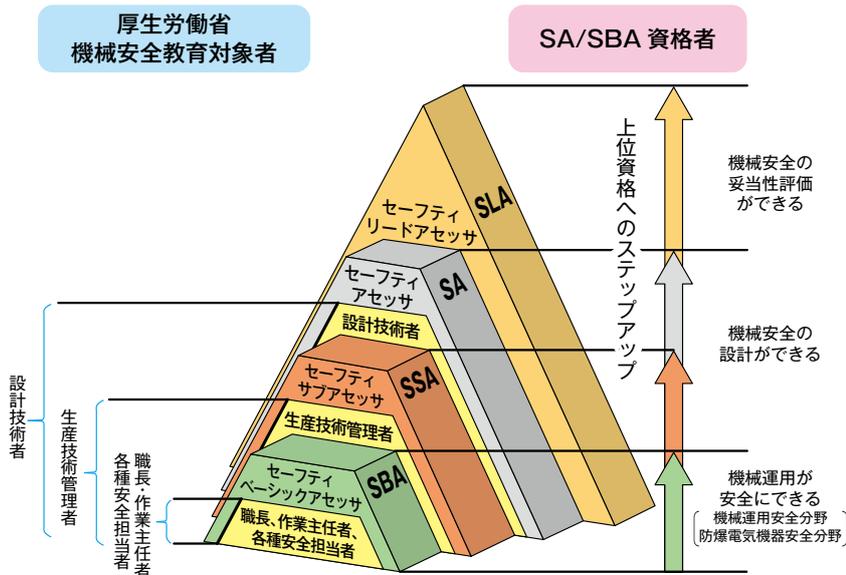
「セーフティベーシックアセッサ〈防爆電気機器安全分野〉資格認証制度」は、防爆電気機器を使用する現場設備の安全パトロールや点検を行う設備の運用者や管理者、オペレータ、保全関係者の方々を対象に、IEC 60079-17(防爆電気設備の保守・点検)に基づく、防爆電気機器の安全に関する基本的知識の習得と第三者認証を行う教育・認証プログラムです。爆発性雰囲気の中で使用する電気機械・設備の安全確保と運用のための人材育成として最適です。この資格も、講習会と試験が1日で行われます。



セーフティアセッサ資格と厚生労働省教育対象者との関係

厚生労働省通達「設計技術者、生産技術管理者に対する機械安全に係る教育について」及び「同(略)留意すべき事項について」(平成26年4月15日付)において、「セーフティアセッサ」のそれぞれの資格を有する者は、設計技術者あるいは生産技術管理者に対する機械安全に係る教育カリキュラムについて、十分な知識を有する者とみなせること、また、「セーフティベーシックアセッサ」は、機械ユーザーの職長、作業主任者、各種安全担当者の機械安全教育に有効であることが明記されました。

セーフティ(ベーシック)アセッサ資格者		厚労省通達の教育対象者
セーフティリードアセッサ		設計技術者
セーフティアセッサ		生産技術管理者
セーフティサブアセッサ		生産技術管理者
セーフティベーシックアセッサ	機械運用安全分野 防爆電気機器安全分野	職長、作業主任者、各種安全担当者



詳細は

日本認証

検索

